

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

界面活性剤の技術の中核とした研究開発型企业。規模の拡大より、グローバル経済に対応できるより強く利益率の高い企業を目指す。

売上高営業利益率
21.5%

2 中長期の経営戦略

1. 界面活性剤・高分子分野での技術開発

界面活性剤分野のみならず高分子分野における独自の技術開発を継続。繊維向け油剤から高分子マツモトマイクロスフェア、金属加工油剤のDI缶用油剤までの開発を深化・拡大。

3. 生産体制の最適化と競争力強化

生産設備の増強と有効活用、既存設備の見直し。競争力のある新製品開発、販路拡大、製品の安定供給体制の維持。

2. 顧客ニーズの把握と技術力の強化

広範囲な顧客層に対して、顧客ニーズを的確に把握し、これまで培ってきた技術力を大きく伸ばす。

4. 社内合理化と経営基盤強化

社内合理化に取り組み、全社一丸となり業績の拡充と収益率の向上に努める。

3 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性への対応

- ・エネルギーコスト上昇、為替レート変動、原材料価格の市場変動などの不透明要因に対処。
- ・経営基盤の強化に継続的に取り組む。

② 市場需要の変動への対応

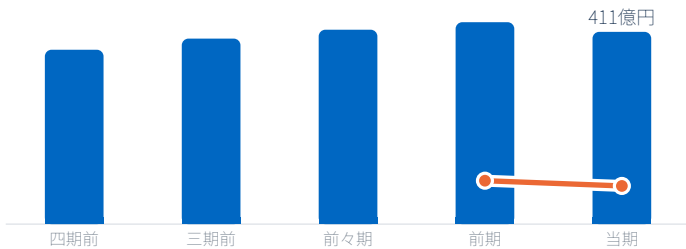
- ・繊維工業関連や自動車関連における世界的な需要変動に対して、柔軟に生産量を調整。

面接で使えるポイント

- ・界面活性剤技術の中核とし、従業員の約3割が研究開発に従事する研究開発型企业として、新分野への挑戦姿勢。
- ・売上高営業利益率が2025年3月期に21.5%に達するまで継続的に向上させた経営実績。
- ・高分子マツモトマイクロスフェアなど既存技術の深化・拡大と新素材・新用途開発の両立戦略。

証券コード 4365

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
411億円営業利益率
19.9%財務健康度
84点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 59.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
755万円
化学内 82位/204社平均年齢
41.4歳
化学内 123位/204社平均勤続
15.5年
化学内 118位/204社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 松本興産株式会社が松本油脂製薬株式会社<4365>株式の変更

